

【R07-04】

巨赤芽球性貧血における活性化ビタミン B12 と赤血球中葉酸測定の意義

1. 研究の対象

2025年6月～2027年3月までの期間に、JR東京総合病院で通常診療中に末梢血液一般検査をされた方

2. 研究目的・方法

目的：巨赤芽球性貧血において現在行われている血清中ビタミン B12、葉酸濃度と、新たな検査である活性化ビタミン B12、赤血球中葉酸の血中濃度を比較し、それぞれの各項目の有意性について確認することにより、医療技術の向上、より優れた医療サービスの提供に利用することを目的としています。

学会、医学論文などの報告・研究に使用いたします。

方法：当院臨床検査科の技師が、対象となる方の診療記録（カルテ）や検査データなどの情報を基に対象者を抽出しその残余検体を使用して検査・集計します。新たな診療や採血の必要はありません。また、発表に使用する際は、個人が特定できる情報は全て削除いたします。

研究期間：院長許可日から2027年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、診断名、ヘモグロビン、白血球数、赤血球数、ヘマトクリット、MCV、MCH、MCHC、血小板数、Fe、LDH、ビタミン B12、葉酸、活性化ビタミン B12、赤血球中葉酸 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

JR東京総合病院 臨床検査科

住所：東京都渋谷区代々木 2-1-3

電話：03-3320-2210（代表）

研究責任者 小野寺 一義 （臨床検査科 技師長）

担当者 小野寺 涼

-----以上